



〈単元〉 跳び箱

■活用教材

跳び箱、ロイター板、エバーマット

ねらい

従来のロイター板やエバーマット(セーフティーマット)では、跳び箱を跳び越すことに恐怖心を抱いている児童にとって、本来持っている力や技を発揮することができない。そこで、その力を補助するためのロイター板や跳び越してからの恐怖心をなくすためにエバーマットをおくことで、思い切った技に挑戦でき、新しい技能を身につけるこ

とができると考える。

児童が、積極的に跳び箱に挑戦するようになることで、より多くの回数を跳ばせることができる。また、今まで挑戦できなかった様な技にも、積極的に取り組むようになる。

効果

跳び箱の高さに驚いていた1年生も、高学年が跳ぶ姿を見て、何とか跳び箱の上に飛び乗ることができるようになった。そして、踏み切りの仕方を教えると跳び箱の奥の方までおしりを持っていくことができるようになった。たった数時間のことであるが、子どもたちは自分の成長を確かめ合うことができた。1年生の中からは、「最初は大きくて(跳び箱が)怖かったけど、もう少し跳べそうだから楽しい。」といった感想をきくことができた。

実践内容

全6時間の内、2時間目の新しい技に挑戦する時間から使用した。今回購入したエバーマットのほかに、同じく購入した跳躍を補助するためのロイター板も使った。新しく購入したロイター板は、跳躍を補助するように反動をつけやすい構造になっており、今までの踏切とは違い、同じ力でもより高く跳躍でき、子どもたちの跳び箱を飛び越した後の恐怖心を取り去るためにも、エバーマットを設置しておくことで、思い切った跳躍をすることができ、力を出し切った技を披露することができた。



今までになく思い切り踏み込み、高い腰の位置で積極的に跳ぶことができた。



今までにやったことのない動きに挑戦中。マットの柔らかさを楽しんでいる。

実践事例で活用された教材はこんな教材です

とび箱A-80

KF-008	税込 ¥75,600
--------	------------



ロイター板ER-85S

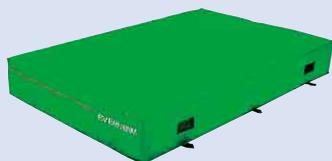
KF-050	税込 ¥29,925
--------	------------



こんな授業を
提案します!

恐怖心を取り除くための工夫

- エバーマットをとび箱の着地点に置き、安心感を持たせる。
- 指導しやすいように、指導ライン入りとび箱を用意する。
- 木のとび箱ではなく、柔らかい材質のとび箱を用意する。
- 重量物のため運搬車を利用することで、落下等によるケガを未然に防ぎます。



その他の教材紹介



エコカラーマット四方ジョイント式

KM-065	税込 ¥20,475
--------	------------

足を引っ掛けられない安全持ち手(横手式)



エコアングルマット

KM-521	税込 ¥57,750
--------	------------